

令和3年 栃木市長 新年の抱負 (要旨)

○年頭のあいさつ

- ・ 去年は、新型コロナウイルス感染症により、生活が一変させられた年であった。
- ・ 市民の皆様には、「新しい生活様式」に沿った対応を心がけていただき、厚く御礼を申し上げます。
- ・ 特別定額給付金など国からの各種支援が速やかに届くよう努めるとともに、生命や財産、子育て・教育環境や産業を守るという観点から、医療機関への支援やインフルエンザ予防接種の助成拡大、地域生産者応援事業、プレミアム付き商品券をはじめとする市内事業者の支援など、様々な対策を講じてきた。
- ・ 感染症対策と並行して、令和元年東日本台風からの復旧・復興のため、市が管理する道路・河川の復旧や、被災された皆様の生活再建支援などを行ってきた。
- ・ 今後は、栃木県が進める永野川・巴波川の抜本的改修にあわせ、支川調整池の整備など、浸水対策を進め“災害に強い栃木市”となるよう取り組んでいく。

【危機管理課 0282-21-2551】

【総合政策課 0282-21-2302】

○新型コロナウイルス感染症対策について

- ・ 「感染拡大防止」と「地域経済活動の活性化」の両立に向け、国の動向を踏まえつつ、引き続き、迅速かつ適切な対策を講じていく。
- ・ 売上が減少した市内事業者など、様々な支援を適時・適切に実施する。
- ・ 県並びに下都賀郡市医師会と協力して、地域外来・検査センターを拡充するなど、新型コロナウイルス感染症対策の機能強化を図っていく。
- ・ 新型コロナウイルス感染症患者への対応に携わる医療従事者が安心して働くことができるよう、医療機関に対しても適時・適切に支援をしていく。

【新型コロナウイルス感染症対策室 0282-21-2193】

【健康増進課 0282-25-3511】

○シビックコア地区整備計画について

- ・ 栃木税務署、栃木公共職業安定所(ハローワーク)が入居する国の合同庁舎は完成。
- ・ 栃木市観光交流館のオープンを本年4月に予定。
- ・ 民間の力を活用した、ホテルは本年4月にオープン予定。
- ・ 分譲マンション、飲食店については、令和3年度中に完成予定。
- ・ 栃木駅周辺は本市の玄関口、また、顔となる場所でもあり、早期の完成が図られるよう連携して取り組んでいく。

【都市計画課 0282-21-2433】

○雇用の創出と地域経済の活性化に向けた取り組みについて

- ・ 「栃木インター周辺西産業団地造成事業」及び「平川地区開発事業」を事業化。
- ・ 新しい生活様式に対応した教育環境の充実を図るためGIGAスクールに向けた機器の整備。

- ・国の「官民連携まちなか再生推進事業」の活用による官民連携の推進。
- ・「栃木市食とスポーツによる地域活性化及び観光振興計画」の策定により、地域資源を活かしたまちづくりを進める。

【産業基盤整備課 0282-21-2376】

【学校施設課 0282-21-2463】

【市街地整備課 0282-21-2309】

【総合政策課 0282-21-2302】

○その他

- ・本市は、豊かな農産物や、豊富で良質な水に恵まれ、首都圏の食糧供給基地として発展してきた。
- ・古くは舟運により、農産物や加工品などを江戸に運ぶ、物資の集散地として発展した歴史がある。
- ・県内で農家戸数が最も多い本市は、近年では食品関連企業の進出などにより食料品関連製造品出荷額等においては、県内2位。
- ・こうした強みを生かし、今年度から本格的に栃木市版フードバレー構想を進める。
- ・あわせて、本市が持つ“食”と“スポーツ”、そして観光などの地域資源を最大限に活用することで、地域の活性化、産業の発展、雇用の場の確保に繋げ、地域経済が成長・発展し、“活力あふれる栃木市”となるよう努める。
- ・昨年10月、テニスの四大大会の一つ、全仏オープン車いすの部女子シングルスで、本市出身の大谷桃子選手が初出場ながら準優勝に輝き、市民に大きな感動を与えた。
- ・スポーツが持つ魅力や感動を分かち合えるよう、市を挙げて盛り上げていきたい。
- ・昨年、中止となった「とちぎ秋まつり」は、実行委員会とともに感染拡大防止策を検討し、本年11月の開催を目指す。
- ・自然、歴史、文化に恵まれた本市の魅力を十分に活かしながら、市民が安心して暮らせる心の通った「強く優しいまちづくり」を目指し、新たなステージに向けて前進する。

シティプロモーション課
担当 石川
電話 0282-21-2315